

2024年3月19日（火曜）

全労金2024春季生活闘争ニュース・第37号

～勝ち取ろう賃金改善！進めようジェンダー平等！みんなで一步先のステージへ！～

《合意速報No. 18》

中国労組が金庫との団体交渉で、「基本合意」を表明しました！

中国労組は、3月19日14時から、金庫と「団体交渉」を開催し、基本合意を表明しました。要求と回答は以下の通りです。

		要 求					回 答				
		正職員 (要求範囲：全職員)	嘱託職員	契約職員	再雇用嘱託職員		正職員 (要求範囲：全職員)	嘱託職員	契約職員	再雇用嘱託職員	
					正職員	契約職員				正職員	契約職員
基本賃金	改善内容	7,500円	10,000円	10,000円 時給65円	7,500円	10,000円	4,000～ 25,000円	6,000円	6,000円 時給39円	4,000円	6,000円
	定算相当額 (実在者平均)	3,200円	2,500円		—	—	3,200円	2,500円		—	—
	合 計	10,700円	12,500円		7,500円	10,000円	7,200～ 28,200円	8,500円		4,000円	6,000円
最低賃金		時間額1,140円、日額8,360円、月額175,500円 への引き上げ					時間額1,130円、日額8,290円、月額174,000円 への引き上げ				
一時金		4.6	3.5	2.5	2.50	2.50	4.6	3.5	2.3	1.0	1.0
昨年実績		4.6	3.5	2.0～2.3	0.5	0.5	4.6	3.5	2.0～2.3	0.5	0.5
安定雇用	無期転換	—	(実現)		—	—	—	(実現)		—	—
雇用環境	私傷病休職	—	(実現)		—	—	—	(実現)		—	—
	育児時短	(小学校3年生まで)			—	—	(小学校3年生まで)			—	—
単組独自要求		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

《金庫の発言概要》

- 日頃より中国労金の事業推進に労働組合の立場からご理解とご協力をいただいていることに対し、感謝申し上げます。
- ここ数年、新型コロナ等金庫を取り巻く環境は厳しい状況であったが、職員の皆さんの頑張りによって当初の予定収益を上回る見通しになっている。日々現場で頑張っている職員の皆さんに、改めて感謝を申し上げます。この間の職員の頑張りや、モチベーションの維持、「人への投資」の考え方については経営陣と一致するものと認識している。

- 安定的な経営のためには、人材の確保と定着化に向けた対策は必要不可欠であり、職員の頑張りを踏まえた回答である。
- 本春闘の回答に向けた議論経過を各職場で説明いただき、第8期中計の初年度に向け、新たな気持ちでお互いにしっかりと納得したうえでスタートしたい。

《小糠闘争委員長の発言概要》

- 満額ではないものの、昨年を上回る有額回答が示され、次年度を前向きにスタートできるメッセージが示されたことにより、基本合意を表明する。
- 基本賃金・一時金に対する回答については、2023年度の職員の頑張りと奮闘に応える、金庫の想いが伝わる回答であると闘争委員会は判断した。
- 最低賃金の引き上げに応じていただいたことは、今春季生活闘争における社会的役割を一定労使で果たすことができ、社会的な波及に寄与できたものと判断する。
- 金融緩和政策の見直しにより、金庫を取り巻く環境が今まで以上にめまぐるしく変化する中、短期的・中長期的な様々な施策を講じる上で、金庫の経営陣においては、労使で正しい危機感と課題を共有し、同じ認識をもって中国労働金庫が永続的に役割発揮できるよう考え、行動していけるよう、今まで以上に職員へ伝えていただきたい。
- すべての役職員が同じ認識に立ち、事業計画の目標達成に向け、労働金庫の社会的な役割を発揮することに邁進できる、安心して働きたいと思える組織風土の構築に向けて、労使一丸となって取り組んでいきたいと考える。

単組は、満額回答には至らない点もあったが、①基本賃金について、i 労組の主張に対して一定の理解が示され、すべての雇用形態に対して昨年の回答水準以上の有額回答が示されたこと、ii 嘱託等組合員に対して正職員以上の回答が示されたこと、iii 賃金表に定める上限金額の改定が示されたこと、iv 生活不安の影響が大きい職層に対して回答が得られたこと、②最低賃金について、労組の主張する「底上げ・底支え」の観点が示されたこと、③一時金について、i 昨年実績以上の水準が確保できたこと、ii 再雇用職員・再雇用契約職員について、昨年実績を超える回答が示されていたこと、等から基本合意を表明しました。

*合意単組（13単組／3月19日21時20分現在）

沖縄、九州、九州（関連）、北海道、四国、四国（関連）、近畿、近畿（関連）
東北、東北（関連）、中央、東海、東海（関連）、新潟、北陸、セントラル
静岡、中国

以 上